あす天長節 勇壮の觀兵式

"斷じて撃つ"の武威

参觀者に數々の注意、心構へ

北洋の彼方から南溟の果まで怒濤を衝き熱砂を蹴つて、高き碧空を天翔り東亜十億の幸を奪つた米英を"撃ちてし止まむ"の熱血ほとばしり斷乎として起つた皇師が挙げる赫々たる戰果は一億國民の感謝と感激の的であるが、こゝに一年五ケ月、思へば米英撃滅するまで戰ひ抜かんとするこの大戰下に再び迎へる明廿九日の天長の佳節は一入意義深く肝に銘じ、八紘一宇の大精神を宏く地球に光被する自覺を確受する日である、わが日本はもとより大東亜の共榮の地では第一線の戰線に至るまで赤誠凝つて奉祝するが、京城でも龍山練兵場で軍部、學徒一體の勇壮なる觀兵式を執行する、この日、板垣朝鮮軍司令官閲兵官となり京城師團長指揮のもとに在城部隊の精鋭ほか府内在郷軍人、男子中等學校以上生徒、學生、志願兵訓練所、青年隊など約一萬名が烈々と沸る軍國日本を表徴して勇壮、豪華なる軍國繪巻を繰展げるのである、決戰下のこの日、この時盛々譲じて勝つの意識を昂揚する為特に一般人の参觀を望まれてゐるが参觀者は次ぎのやうな心構へと注意を要請されてゐる、参觀者は九時五十分までに別表のやうな圖の位置に集合することになつてゐるが、一般参觀者は三角地及び龍山郵便局入口を通過して進むか、若しくは鐵道病院、漢江人道橋方面から練兵場に入場し、その他の道路は軍隊通過の關係上通行出來ぬ、但し學生、生徒その他諸團體（婦人、女學校、國民校、各官廳、會社、工場等）で引率者により入場のものは龍山郵便局前から特に軍司令部構内を通過し得る、自動車による入場者は例年の通り新龍山停留場から總督官邸前を通るか又は漢江の堤防上から練兵場に入ることになつてゐる、なほ左の事項について特に注意されたい

（一）一般に解放されてゐる進入路であつても自動車部隊が通過する場合は一時通行を中止し沿道に停止すること

（二）寫眞機は携行しないこと

（三）服装を正しくし靜粛にすること

（四）若し一般参觀人の中病人等が出來た時は救護所（一般参觀人の位置の西側で赤十字の標識あり）から救護を受けること

（五）天候等の都合で萬一觀兵式中止の場合は當日午前七時卅分ラジオで通告する

當日は京電では午前九時から同十時まで、また午後零時卅分から同二時まで電車の増發を行ふ筈である

軍當局では大東亜戰下特に多數の人々の参觀を希望してゐる

練兵場進入路要圖

觀兵式場要圖

挺身ご奉公を誓ふ

帝都で 半島遺族の修養座談會

東久邇總裁宮妃殿下

第三陸軍病院へ御慰問

陸鷲・空から靖國參拜

【東京電話】春の臨時大祭五日目の二十七日無敵陸鷲の大編隊が空から新祭神を初め護國の英靈に参拜した、この日も九段の御社に参拜する群は午後三時轟々たる爆音にはつと一齊に空を仰げば大鳥居の彼岸、皆行社上空を九機また九機編隊振りも鮮かに陸鷲爆撃機の大編隊が今朝國の森深く神鎮まります英靈に空から敬虔な默禱を捧げてゐるのが翼をふつてゐるかに見えるのだつた【寫眞＝陸の荒鷲空から靖國神社参拜（陸軍省検閲濟）＝電送】

事變來の輝く貯蓄

遂に七百卅億を突破

【東京電話】一億國民の努力により昭和十七年度の國民貯蓄實績は貯蓄目標額二百卅億圓を突破し、しかも數億圓の超過を見た旨さきに大藏省より發表され、その正確なる貯蓄實績は今月末に發表される が賀屋藏相は二十七日の閣議において支那事變以降十七年度までにおける貯蓄の實額ならびにその蓄積金が公債消化ならびに生産力擴充方面に振り向けられた運用狀況につき詳細說明を行つた、藏相の說明要旨次の通り

一、國民貯蓄目標額が始めて建てられた昭和十三年度以降十七年度までの貯蓄目標額は累計七百億圓であつたが十七年において貯蓄實績が目標額を數億圓突破した結果右目標額は略達成されたこれに昭和十二年七月支那事變勃發以來翌年三月末までの貯蓄額三十億圓を加算すれば支那事變以降十七年度末までに七百卅億圓の貯蓄が達成されたわけである

一、また支那事變以降十七年度末までにおける貯蓄取扱機關別の貯蓄増加額についていへば郵便貯金は事變勃發前の三十六億圓から九十六億圓を増加して百三十二億圓となり、銀行預金は當座預金を除いて百三十三億圓から二百九十五億圓を増加して約四百三十億圓、生命保險積立金は三十五億圓から四十二億圓を増加して七十七億圓に達し、さらに信用組合預金は十七億圓から六十六億圓を増加して八十三億圓にそれぞれ増加するに至つてゐる

一、次に右蓄積資金による國家所要資金運用狀況については支那事變以降十七年度末までに事業設備資金に振り向けられたものは事業會社の自己資金を含めて内地二百五十二億圓、朝鮮、台灣などの外地四十三億圓、對滿、關東、支七十五億圓以上合計三百七十億圓でさらに公債消化に振り向けられたものは三百八十五億圓、すなはち支那事變以降十七年度末までの公債發行累計額四百三十六億圓の八割八分五厘を賄つてゐる

一、なほ明治初年以降昭和十二年六月末までの國民貯蓄額は四百六十億圓であるから支那事變以降の貯蓄額七百三十億圓を合せば國民貯蓄額は十七年度末までゝ總額約一千二百億圓の巨額に達したことになる

赤ちやんの體力檢査を改正

【東京電話】『お國の寶を健かに』の線に副つて赤ちやんの體力檢が改正強化される、厚生省では『今年度の乳幼兒體力檢査實施指導要綱』を決定廿六日武井厚生次官から各地方長官宛通牒した、これによると從來乳幼兒體力檢査の對象は滿一歳兒（一歳未滿）と一歳兒（二歳未滿）の赤ちやんだけであつたが、今年からこの年齡層を擴充、二歳兒（三歳未滿）も體力檢査をうけねばならなくなる、また從來は年二回地方毎にまちまちの期間を選んで實施してゐたが、寒い時に行つて却つて惡い結果になつたり眞に虚弱兒の治療に手落ちがあつたりしてゐるため、今後は原則として年一回とし榮養不足疾病異常のある病弱な赤ちやんには特に二回實施、檢査期間は全國的に一定して第一回は來る五月一日から七月卅一日まで、第二回は八月一日から十月卅一日までの間に各市區町村内の國民學校、學校附屬病院などで行ふことになつた

なほ本年の體力檢査をうける赤ちやんの總數は約六百人と見積られてをり、一歳兒は昭和十七年四月一日以降本年三月卅一日までに生れたもの、二歳兒は昭和十六年四月一日以降昨年三月卅一日までに生れたものである

送金杜絶で困らう

外務省が抑留邦人の國内家族救濟へ

【東京電話】大東亜戰爭勃發以來敵國および斷交國に在留する邦人同胞の苦境に對しては一億國民の齊しく同情を禁じ得ないものがあり、總數五十六萬にも達するこれら同胞の待遇改善については外務當局も常に意を用ひ去る第八十一議會でもこれがため十八年度分として二百萬圓の豫算が認められたのであるが、同時にこれら敵性國在留邦人の家族で内地に殘留してゐるもの、または學校教育のため父母の膝下を離れて祖國に滯留してゐたものなどで海外からの送金杜絶のため生活費修學費などに困つてゐるものも尠くないので、外務當局ではこれら家族の救濟にも着手しすでに實行しつゝある、敵性國在留邦人の家族は一軒平均三十家族であり、從來この中で困窮せるものは厚生省の管轄下に各府縣救護法の適用を受けるかあるひは各種團體の救濟に俟つてゐたのであるが、今回外務省内に新設された救濟委員會の手によつて救濟の手が伸べられることになつたのである、右に關し外務省では廿七日午後三時次の如き當局談を發表した

外務當局談

敵國あるひは斷交國に在留する邦人の家族にして殘留しまたは修學などのために内地に滯留し最前海外からの送金に依存してをつたもののうちには今次戰爭によつて送金が杜絶したゝめに生活費や修學費に窮してをる者が尠なくないが、外務省においてはこれが救濟に遺憾のないやう萬全を期し、すでにこれが實行に着手してゐる、また現在敵國あるひは斷交國に在留してゐる邦人に對しては當該國において救濟の責に任ずべき筋合であるが外務省においてはその生活および當該國政府の取扱ひ實情を詳細調査してをりこれに適應し最善の措置を講じてゐる、斯様に外務省において敵性國在留邦人について國内國外ともに充分に留意してゐる次第である、これが救濟に遺漏のないやう充分に留意してゐる次第である、ついては敵性國在留邦人の家族で内地にて生活困難を來してをるものの調査に關しては海外移住組合聯合會、各府縣移住組合に擱留せしめ來た敵國在留邦人の子弟にして内地で修學に困難を來してゐるものゝ調査は東京方面においては在日二世聯合會、日米協會、ラテン・アメリカ中央會、日墨協會、日智協會、日伯中央協會をこれに當らしめてゐるから救濟希望の向きはそれぞれその趣旨に從つてこれを叮嚀に斉み連絡し外務當局に救濟方申請せられたい

全鮮産業祭

數々の行事

總督府、聯盟及び各方面が後援して來る六月二日から開催する朝鮮商工新聞社主催の第十回全鮮産業祭は半島の産業面に大きな貢獻を齎すべく、決戰決意を示し各種行事を執り行ふが、九日まで次の行事を開催する

第四回全鮮模範産業戰士表彰▲全鮮産業品展覽會▲大東亜戰完遂半島生産力擴充大展覽會▲第八回全鮮商業學校生徒作品、ポスター展覽會

健民へ皆行軍

一日・全鮮に進發命令

尚武の五月――一日から逞しき強民強兵の鍛成譜に銃後の底力を誇る健民運動の一翼として朝鮮體育振興會では運動初日の一日夕方から二日にかけて全鮮的に行軍訓練大會を實施

作戰の要求に即應する行軍力の増強と集團訓練による日本精神を錬磨して國民皆行軍へ二千五百萬總起ちとなることとなつたこれには京城の中央大會に呼應して各道では道體振興會主催のもとに管下各府、郡、邑毎に五〇粁を標準として官廳、會社、工場、學生、生徒その他一般民衆の男子青少年が参加するが、訓練大會を一層意義深くするため出發及び歸着點を神社または神祠前とし訓練の始めと終りには神拜行事を嚴肅に舉行、こゝにも日本精神を發揮して"撃ちてし止まむ"の闘魂を打ち樹てる

英七機喪失

獨本土に來襲

【ベルリン廿七日同盟】ドイツ軍當局の言明によれば、英空軍編隊は廿六日夜より廿七日にかけてドイツ本土西部地區に來襲、相當大規模の爆撃を行つたが、うち少くとも七機は獨軍のため撃墜された、この爆撃により市民の間にかなりの死傷者を生じたといはれる

九千名の坑夫

罷業を開始

【ヴエノスアイレス廿七日同盟】ワシントン來電＝ペンシルバニヤ州を中心とする米國東部地方炭田の米國鑛山勞働組合所屬勞働者は賃銀値上げ交渉をめぐり不穩な形勢をつづけてゐたが、約九千名の坑夫は廿七日から遂に罷業を開始した

戰爭映畫會

【馬山】日婦府支部並に海軍協會府分會及び總力府聯盟では廿二日午後一時から劇場館に共樂館で大東亜戰爭記錄映畫會を開催した

"重慶"に"怪人部隊"

謀略とゲリラに狂奔

【南京廿六日同盟】支那戰線に現れた外人部隊、名前も『重慶國際突擊隊』といへば聞えはいゝが、これはそんな派手なものではない香港陥落の前後から支那大陸の奥地に逃亡した米英人は故國の敗戰を知るや知らずや、奥地の原始的生活に不滿をかこつてゐたが、昨年十一月末頃から英人を主體とする米英人約三百名が浙江省の第卅二集團軍々長李默庵に屬する四萬人内外の部隊を集めて麗水附近一帶で軍事訓練を開始し二月上旬一部訓練終了者をもつて天台、新昌方面に出沒し小癪にもわが警備前線を窺はんとしてゐる、これらの怪人部隊は一様に灰色の軍服を着用し兵力約四、五千、これを四乃至五個聯隊に分け戰鬪單位を小隊としさらにこれを三つの戰鬪班と一つの政治班に分け裝備も各聯隊に迫撃砲二門、重機二、輕機廿、小銃二百五十、同筒銃十五を有し各人それぞれ手榴彈六、小銃彈百發をもつてゐるといはれ各聯隊に外人顧問十名宛配屬されてゐる

この裝備から見てわが軍と戰鬪を交へるなどは思ひもよらず、恐らくわが占領地區に對する謀略宣傳と各地民衆の抗戰思想乃至は遊擊工作に狂奔する土匪的集團に過ぎまいが重慶も彼ら逃亡外人の始末に困り果てたものと見えて御念の入つたことを考へ出したものである

卑怯者のドウリツトル

我荒鷲の猛追に危く命拾ひ

【廣東廿七日同盟】鬼畜米空軍の日本本土空襲の一周年に當りわが大本營によつてなされた正確な發表によりドウナッシングの醜名を世界に曝して一躍卑怯米鬼の醜名を世界に曝かせた當時の米空軍指揮官ドウリツトルは東京空襲後逸早く支那大陸に逃れたが、重慶から歸米の途ビルマ上空で再び日本航空機に追ひまくられ、ほうほうの態でカルカツタに辿りついたことがこのほど判明した、即ち廿六日の重慶放送によるとドウリツトルは他の同僚とともに航空機で重慶を出發、歸國の途についたがビルマ上空で日本軍の戰鬪機に追跡され見苦しくも逃げ廻つたのち辛うじて陥落前のミイトキーナに不時着した、當時飛行場には敗殘英印軍五千がごつた返してゐたが追ひつめた日本戰鬪機はこれに猛烈な機銃掃射を浴びせかけたので英軍幹部は先を爭つて同飛行機に攀ち登り四時間後漸くカルカツタに到着、惡運強く辛くも命拾ひしたのであつたといはれてゐる

印度回教聯盟年次大會

【イスタンブール廿五日同盟】ニューデリー來電＝南阿聯邦がトランスバル並にナタール兩州に於ける印度人土地所有禁止法案を實施しようとしてゐることは印度人の間に非常な不滿を惹起してゐるが、回教聯盟は廿五日夜、同志一萬五千名出席のもとに年次大會を開催、全會一致次の強硬決議案を採擇した

一、南阿聯邦議會が印度人土地所有禁止法案を採擇し英帝が同法案を裁可する場合には印度人と南阿人との間に重大な分裂を惹起するであらう

一、以上の情勢にかんがみ印度政府は直ちに南阿聯邦と交渉を開始すべきであり南阿聯邦政府もまた法律的な處理を止めて印度政府との間に會議を開催し友好的に原案を解決すべきである

一、萬一印度人排斥法案が施行せられる場合にはすでに中央立法會議において採擇されてゐる條項を南阿人に對して即時適用することを要求する

臨淇奇襲の隊長

逞しき荒鷲の闘魂譜

【山西○○前線にて廿六日同盟】敵の眞只中に着陸して悠々敵情を偵察して歸還した勇敢なる荒鷲部隊長の闘魂――太行山脈の空には惡氣流が惡魔の如く蟠ひ荒鷲の活動を阻んでゐる、我陸鷲は地上精鋭部隊に呼應して連日この惡天候を征服、爆撃に偵察に日夜大活動を續けてゐるが、去る二十三日皇軍の臨淇奇襲に際しては林野民三郎隊長（岩手縣）は○○機を率ゐて敗敵に爆彈の雨を降らせ、さらに單機臨淇上空に飛び同地一帶の敵陣地を偵察中、不幸エンジンに故障を起し臨淇附近に不時着するのやむなきに至つた、同地は何ろ太行山脈の天嶮の一角で不時着する場所も見當らなかつたが、沈着な同隊長は無事地の中に着陸に成功、いち早く故障ケ所を修理しさらに悠々附近の敵情を偵察し、敗敵が飛行機を發見し殺到するや敵前○メートルで困難な離陸を行ひ神鬼に近い荒鷲の闘魂を發揮して無事基地に歸還したのであつた

滿蒙開拓青少年

義勇軍訓練終了

【東京電話】共榮圈北の護り滿蒙開拓に挺身する昭和十八年度滿蒙開拓青少年義勇軍は目下茨城縣内原の訓練所で基礎訓練をうけてゐるがこのうち五、六兩月に渡滿する豫定の義勇軍十七ケ中隊約五千人は訓練を終了したのでいよいよ來る廿日午後一時より内原訓練所において青木大東亜相代理山本次官をはじめ關係官多數出席して晴の渡滿壯行式を舉行する

赤十字有功章御授與

【東京電話】日本赤十字社では來る六日の第五十一回總會に先立ち五日午前十時から畏くも閑院總裁宮殿下の台臨を仰ぎ赤坂福田原の憲法記念館で有功章ならびに特別社員章の御授與式を舉行する、特別社員章は二百圓以上の寄附者約一萬六千名、有功章は一千圓以上の寄附者約二千名に對してそれぞれ授與される

職員錬成大會

【密陽】決戰下官公吏の責務重大に鑑み郡では邑面職員の進むべき道を明かにし自己の修養錬成に努め十五萬郡民を率ゐて一層米英撃滅の意識を昂揚して生産職力の決戰的増強を圖り益々決戰生活の確立を期して聖戰目的の完遂に貢獻しようと太田内務課長陣頭總指揮の下に郡邑面綜合鍊成大會を廿四日第一國民學校で七百餘名が集合盛大に行つた

蚌埠領事館

【東京電話】二十八日開館 大東亜省では三月廿一日在外公館擴充に關する勅令を公布、在支公館その他の機構擴充を行つたが右のうち開設が遅れてゐた新設蚌埠領事館（安徽省）は諸般の準備が整つたので廿八日より開館することとなり、初代領事には南京在勤の領事中根直介氏が同日附で發表される

『朝鮮通信』廢刊

朝鮮通信社は大正十五年四月廿三日通信發行の認可を受け爾來滿十七年間伊藤韓堂氏名義にて朝鮮通信を發行中であつたが、發行人伊藤氏は去る十七日逝去したので同氏生前の意志に隨ひこの際廢刊することゝなつた

話の屑籠

☆……住宅よ、餓事務所よと血眼になつて探し求めるとき之は驚き入つた事務所の活用――朝鮮海事報國團では十三坪の部屋に十六個の机を持込み、事務以下十九名の事務員が膝ならぬ肱をつき合はせての執務振り

☆……遞信局内に移轉の手筈がすつかり整つてゐた同團は海事課の都合で適當の部屋が貰へなくなり、がつかりした揚句少しでもと海員の訓練に出張の多い課長の席だけを移轉した

☆……時局の進展と共に忙殺を極める同團では來月中に十名の事務員を擴充するが、せまい居所に來てもらつても、といつて仕事は山と待つてゐるので鰯詰めのギユウギユウの悲鳴に懇over首で海への洋々たる仕事に頑張りを見せてゐる

夕刊　京城日報

國民政府軍事使節團入京

決戰下にこの餘裕

葉上將、瞠目して語る

【東京電話】參戰以來治安警備に努力し來つた新生中國國軍を代表して世界に冠絶するわが陸海軍の精鋭を學び、決戰態勢下の日本の國情を理解すべく遙々來朝した國府軍首腦部軍事視察團一行は都合で遅れた北支班を除き中南支班十一名が國民政府陸軍部長葉蓬上將を團長とし軍事顧問林少佐の案内で、廿七日午前六時五十一分東京驛着の列車で入京した、驛頭には富永陸軍次官、參謀本部有末少將をはじめ徐良前中國大使、王中國大使館附陸軍武官、楊海軍武官、大東亞省關係官など多數の出迎へ裡に颯爽と入京の第一歩を印した一行は帝國ホテルへ向ひ、こゝで目下來朝中の褚外交部長の出迎へを受けて寛いだが、葉上將ははじめて見た日本の印象を次のやうに語つた

東亞から見た日本の姿は決戰下にありながら平穩で、その綽々たる餘裕には一驚を喫するとゝもに非常な感銘を受けた、現下の世界情勢では工業の發達力が一國の消長を決定するといへるが、この點海洋に繋がる重輕工業の充實ぶりには目を瞠つた次第だ、この日本の底力に信賴してお互ひ大東亞建設の責任を感じて與へられた使命に挺身して行きたい

司法長官會同

【東京電話】大東亞戰下二回目の定例司法長官會同は來る五月三日から六日まで四日間司法省で開催されるが今回の會同では特に戰力增強と國家の緊急施策……について協議を行ふ……

戰鬪準備は逃支度

投降敵兵器部長語る

晋冀豫作戰

【太行山脈〇〇にて廿六日同盟】抗日を呼號して來た第廿四集團軍も疾風迅雷のわが猛攻に潰滅各軍支離滅裂、投降續出の有樣であるが、新編第五軍の兵器部長孫子議中佐（三〇）同じく枝隊長侯錦義大尉（三〇）はさる廿三日臨淇西南方の北淺齒附近の戰鬪でわが軍の捕虜となり、目下〇〇に收容されてゐる孫中佐は今更の如く抗日の迷夢を悔い今次作戰における敗戰狀況を左の如く語つた

日本軍が作戰を開始したのを知つたのは四月廿一日であつた、我々は直ちに戰鬪準備と共に早くも逃げ支度を整へた、私は昨春日本軍と戰つた經驗があるので、今回の戰鬪にも勝つ自信がなかつたが、今回の日本軍の巧妙な戰術と將兵の勇猛果敢さには、たゞ驚くばかりで、呀つといふ間に各要點が占領されてしまつた、それに飛行機の攻擊は正確で、誰もわれ〳〵の脅威であつた、投降するに至つた原因は二つある、一つは日本軍の猛攻に防戰の餘地がなかつたことである、今一つは食糧の不足である、軍隊も住民もこの食糧難には實に苦んだ、それでも軍隊には一人一日粟粉、玉蜀黍の粉が一斤半位配給されたが、陵川方面からの糧秣補給が杜絶してから兵隊の逃亡者が續出し住民の餓死は日に〳〵增加するばかりであつた、今この〇〇に送られて來たのだが和平地區の繁榮には驚いた、われ〳〵は永い間山の中にゐて逆宣傳ばかり聞くので全然かゝる實情を知らなかつた、私が今感じてゐることは同じ民族が相爭つてゐたとは間違ひであつて、これは現にこの〇〇に於いて日華人が相協力して繁榮と活氣ある生活をしてゐるのをみて痛感した

李仙洲部隊潰亂

隴海線でも殲滅戰

【徐州廿六日同盟】かねて安徽省渦陽、蒙城一帶に蟠居し、北上の機を狙つてゐた匪第九十二軍李仙洲部隊の有力なる一部約三千は去る廿一日夜俄かに渦河を渡河、敗殘隊となつて北上を開始したが同方面を警戒中のわが山岡、高部兩部隊は逸早くこれを察知し、直ちに猛追、廿五日夕刻隴海線碭山東南方附近において森、若林の各部隊と呼應、山西省境において壯烈なる包圍殲滅の猛攻を加へ、大打擊を與へた、廿六日早朝までに判明せる戰果左の如し

敵遺棄死體三三七、鹵獲品　重迫擊砲二、同彈藥三〇〇、銃劍二七、擲彈筒六、小銃一五六、同彈藥四、五〇〇

吳化文部隊蔣軍を擊碎

【南京廿六日同盟】抗戰の非を悟り國府陣營に投じ爾來山東方面軍總司令としてわが軍に積極的に協力をなしつゝあつた吳化文上將麾下部隊は、十二日挑戰軍團第五十一軍（軍長周光烈）および新編第三十六師（師長劉桂堂）と山東〇〇方面で戰鬪を交へ、終始壓倒的攻勢をもつて兩部隊を撃破したが十九日までに吳化文部隊のあげた主なる戰果は左の通りである

敵遺棄死體一、九〇〇、捕虜二〇〇、鹵獲品　輕機一一、小銃二〇七、損害戰死三〇〇

朱子銘將軍和平陣參加

山東中部の敵は大恐慌

【濟南廿六日同盟】かねて吳化文將軍麾下に馳せ參ずべく機會を狙つてゐた魯蘇戰區海軍陸戰隊司令朱子銘將軍は今回山東方面軍の敵第五十一軍擊滅作戰の機に乘じ部下千二百名と共に山東方面軍に合流し將共兩軍擊滅作戰に活躍することゝなつた、山東中部の敵は朱子銘將軍の和平陣參加により大恐慌を來してゐる

敵機の侵入許さじわが監視哨（南方前線〇〇にて）

米戰鬪機二二機擊墜

ガ島西北方で空中戰

敵側發表

【ブエノスアイレス廿六日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は廿六日次の如く發表した

廿五日早朝ガダルカナル島西北九十五哩の上空で四機より成る米軍コルセーア戰鬪機隊は日本航空部隊と交戰したが二機を失つた

戰車三百廿臺擊破

北阿樞軸軍猛烈な反擊

【ベルリン廿六日同盟】チユニジヤ戰線に從軍中のデー・エヌ・ベー特派員カール・ブレーグナー氏は廿六日チユニジヤ各地の戰況を次の通り報じてゐる

廿五日西部地區の樞軸軍は數的に壓倒的優勢を持する反樞軸軍に對し大規模な反擊に出でた、敵は再度非常に強力な戰車部隊をもつて強襲を繰返したが、樞軸軍の梟敵な抵抗によりその努力はすべて水泡に歸した、樞軸軍地上部隊は廿五日反樞軸軍戰車七十三台を擊破し、樞軸空軍は戰車廿一台を擊坐せしめた、西部地區だけでけふまで反樞軸軍は少くとも戰車三百廿台を喪失してゐるが、さらに一九四二年十月一日以來アフリカ戰線における敵戰車の損害を通算すれば三千九百十七台以上に達する

北部地區では樞軸軍の戰線短縮によりマツールに通ずる道路は以前にも增して堅固に防禦され、メジエズ・エル・バブならびにブアラダの兩地區でも樞軸軍はグリツシユ・エル・ウエドおよびセブクレ湖附近のエル・クールジヤの諸陣地から後退し、主要防禦線を強化した、全般的にいつてアンダーソン麾下英第一軍の樞軸軍陣地突破企圖はいづれの地點でも成功出來ない、廿五日樞軸軍は主として戰車部隊をもつて猛烈な反擊戰を展開、殊に兆戰車部隊は敵戰車隊に大損害を與へ、侵入部隊を擊退するといふ有樣で、戰車を伴はぬ敵の攻擊はいづれの地點でも一時的突破にさへ成功してゐない

南部地區では五日間にわたる激戰で甚大な損害を蒙つた英第八軍は復活祭の第一日曜日には遂に大規模な攻擊に出でず、目下頻に部隊再編成に努めてゐる、僅かに先鋒部隊が樞軸軍最前線陣地に攻擊を加へただけで廿五日同方面で英第八軍は戰車二台、偵察用戰車一台を擊破され、また樞軸軍は偵察用戰車一台を鹵獲した、一方樞軸空軍は二十五日の戰鬪で重要な役割を演じ、地上部隊の防禦戰に協力するとゝもに晝夜にわたり敵豫備隊に空襲を加へた戰鬪機隊は戰車密集部隊を強襲したのち更に敵空軍基地ならびに戰鬪地域における敵部隊、物資貯藏所を襲ひ多大の戰果をあげた、この結果兵員および軍需品を滿載した貨物自動車六十台以上を擊破し、燃料貯藏所を炎上せしめ、また高射砲陣地二ケ所を破壞した

對波蘭國交を斷絕

ソ聯政府、通牒を發す

【クイビシエフ廿六日同盟至急報】ソ聯政府はポーランド亡命政權との外交關係を斷絕するに決定した旨廿六日發表した

【ストツクホルム廿六日同盟】モスコー放送＝ソビエート外務人民委員モロトフ氏は廿六日モスコー駐劄ポーランド大使ロメールを招致、ソビエート政府は亡命ポーランド政權との關係を斷絕する旨通告したソビエート政府の通牒要旨次の通り

一、ポーランド亡命政權のソ聯に對する態度は全く異常的であり同盟國間の一切の規約と正常の手續を無視してゐるといはざるを得ない

一、ポーランド軍將校がスモレンスク地區において虐殺されたといふソビエート政府に對する敵對宣傳が開始されるや獨逸ポーランド亡命政權は奇貨措くべしとして右宣傳をとりあげ、同亡命政權の御用新聞は西方事件の擴大を企圖した

一、更に亡命政權はソビエート政府に對し右事件につき詳細な說明を求め、進んで國際赤十字社に對し調査を要求するに至つた以上の實情に鑑み、ソビエート政府はポーランド亡命政權との關係を斷絕するに至つた

【チユーリツヒ特電廿六日發】スイス、ベテツシユ通信の報道によればモスコーラジオは廿六日ソ聯政府が在ロンドンポーランド亡命政權と外交關係斷絕に決定した旨放送した、當地ではドイツに暴露されたスモレンスク附近におけるポーランド將校虐殺事件に關する兩國間の軋轢に直接基因するものと觀測されてをり、このソ聯政府による外交關係の一方的破棄は現在ソ聯と亡命ポーランド政權間の關係に複雜微妙なる英ソ關係が反映したものであるから英米ソ三國の政治關係に惡影響を及ぼすこと必至であると見てをり、特にこれが英ソ關係打開のため英外相イーデンがワシントンに赴き目方奔走した直後のことだけにその成行は重視されてゐる

波、緊急閣議

【リスボン廿六日同盟】ロンドン來電＝ソビエート政府の斷交通告を接受した亡命ポーランド政權は廿七日ロンドンにおいて緊急閣議を開催し、對策を檢討するに決定した

英　樞軸國側の勝利を認む

【リスボン廿六日同盟】ソビエート政府はポーランド亡命政權との關係を斷絕したとの報道にイギリス外務省筋では當惑の色を示し廿六日次の意見を漏らした

今回の事件で滿足するのは樞軸國だけであらう、樞軸各國はゲツベルス博士の勝利を謳歌するであらうが、反樞軸國としてはソ波兩國のいづれに味方するわけでもなく反樞軸國の團結を要望するばかりだ

米　正邪別として全く遺憾

【ブエノスアイレス廿六日同盟】ワシントン來電＝アメリカ國務省は廿六日次の意嚮を表明した

ソ波兩國の意見相違については、いづれが正しいかそれは別としてまことに遺憾である

波首相の泣訴空し

白日下、寄合世帶の醜

【東京電話】スモレンスク近傍カトウイン森におけるポーランド軍將校一萬餘の虐殺事件は遂にソ、ポーランド兩國間の國交斷絕に迄發展し反樞軸陣營はこゝに寄合世帶の醜態を白日の下に曝け出したのである、一九三九年九月獨軍のポーランド作戰開始に赤軍は奇貨措くべからずとポーランド國內に侵入、赤子の手を捻るやうにしてポーランド東半を略取同地區をそれぞれウクライナ共和國、白ロシヤ共和國へ編入してしまつた、ロンドンに亡命したポーランド政權はソビエート政府の不法を詰り嚴重抗議を提出したがソビエート政府は同地方がベルサイユ體制に甚だしく不當に奪取された事實を楯にとつて鉄もほろゝの挨拶をしたそののちソ波兩國の關係は斷交狀態のまゝ一九四一年まで持越されたが、六月廿二日獨ソ兩國が開戰するや、ソビエート政府はポーランド亡命政權との外交關係復活を企圖し、首相シコルスキーをモスコーに招致して折衝を進めた結果、遂に同盟條約が締結した、ソビエート政府は同條約に於いてポーランド國の主權を尊重する旨誓ひ、ポーランド軍捕虜を釋放して失地回復のため、兩軍協力したドイツ軍と戰ふ旨公約した、しかるに第二冬季反攻開始に伴ひ、ソ聯は宣傳機關を總動員して戰後に於けるポーランド領のソ聯後編入意圖を露骨に示し、外務人民委員部次長でウクライナの劇作家コルメイチユークの如きはプラウダ紙上で、ポーランド國の存在を公然と否定するに至つた

事態切迫に狼狽したポーランド亡命政權はロメル大使を通じてソ聯政府に嚴重抗議を提出する半面シコルスキー自ら出馬して米英兩國政府に泣訴戰後における舊ポーランド國境線の確保を支持するやう要請した

【リスボン廿六日同盟】ソビエート政府がポーランド亡命政權との關係を斷絕した結果、反樞軸陣營は端なくも寄合世帶の醜態を暴露するに至つたが、亡命チエツコスロバキヤ政權の大統領エドワード・ベネツシユは、英ソ兩國の關係その他反樞軸各國間の斡旋を勤めるため近くワシントンならびにモスコーを訪問するに決定したと傳へられる、ベネツシユは五月中旬アメリカに赴き、約二週間滯在しルーズベルトならびにハルと會見し、ついでカナダ政府を訪問一旦ロンドンに歸還したのち、さらにモスコーを訪問する豫定といはれる

反樞軸の弱體暴露

ベネツシユ調停出馬か

努めよ教學刷新

局長會議に總監發言

廿七日定例局長會議に於いて再び小磯總督、田中政務總監は教學刷新を鋭く取り上げ發言したが、知識層に對する錬成の徹底を特別に要望し、最も錬成におくれた知識層に對する皇民化錬成の內容並に方向を明快にした

政務總監發言要旨

各種の視察報告情報等を綜合するに學生々徒の動向に關しては十分に指導を深めなくてはならぬ、最近內地方面に於いては大いに教學刷新の實があがつてゐるのである、朝鮮に於いても校長等の人選を嚴にし之が實現の徹底を期せねばならない、且學務局に於いても之が具體策を練りつゝあるのであるが、單に學務局の問題とせず總督府全體が步調を合せこの教學刷新に努め學徒の訓育に對し努力せられたい

府尹郡守會議終る

京畿道府尹郡守會議第二日目は廿七日午前九時半から道廳第一會議室で引續き提出議案の審議行ひ、午後三時から軍事講演、映畫を見て同四時半二日間に亘る會議を終つた

戰力增強の一點へ

體振の答申委員會開く

戰時學徒體育訓練實施要綱についで半島民衆を對象とする決戰下の一般國民體育訓練實施要綱が廿七日總督府から發表された

さきに小磯總督は徵兵制を明年に控へた昭和十八年度よりの『朝鮮に於る一般國民體育を決戰體制に即應せしむる具體的方策如何』の諮問事項を本府體育行政の表裏一體の機關たる朝鮮體育振興會に附議決戰段階に即應する半島體育の再編成を強調、朝鮮體振では朝鮮軍井原參謀長、總督府田總長、海軍武官府松本大佐、丹下警務局長、大野學務局長、朝鮮商銀堀頭取、中樞院金思演、高元勳兩參議、高宮本社々長（代理秋尾編輯局長）ら軍官民からなる體振役員四十氏が答申委員となり廿三日本府第一會議室で體振總裁田中政務總監統裁の下右に對する答申委員會を開催、井原參謀長を初め各委員が腹藏なく開陳した熱烈たる意見の結果を取纏めて、これを決戰下半島民衆體育訓練の指標として明示したものである

而してその方途は徵兵制に備ふるため一般國民體育も戰時學徒體育訓練體制に照應して一體化、專ら戰力增強を目標としこれに即應する如く指向し征戰目的の達成に資するにありを指導方針として、その目標を戰力增強の一點に集中國家意識を益々旺盛ならしめ果敢不撓の精神涵養をはかり、そこに錬磨された強靱なる體力は國土の防衞、進んでは攻擊力を增強して銃後生產力の增強をめざす、かくて體育實施の對象は半島全大衆に置いて、特に兵役年齡層及び戰時增產に挺身する一般勤勞大衆と女子青年に一段の施策實踐を強化、これがため體育實施の種目を徹底的に整備刷新してその重點を平素の錬成に置き體育大會などの開催は輸送關係などを考慮して平素の訓練と不離一體の關係に於いて眞に緊要を認めるものを嚴選實施することゝなつた

かくて刷新整備した體育種目は直接戰力增強を重點として一般武道、それに銃劍道、行軍、射擊、海洋、航空兩訓練、騎道、體力章檢定など男子は十四種目とし野球、籠球、蹴球（ラグビー）など球技一切は學徒體育實施要綱と同じくその重點的圈內から除外され、女子は體操、行軍など八種目のうちに女子に適切な球技に限つてこれを認めてゐる、かく強化刷新の體制を滲透せしめるに對應して體育行政機構を確立、本府に體育課などを設置し優秀なる體育指導官、道に地方體育官を設置、錬磨の指導陣體制のもと、二千四百萬總訓練へ起上ることゝなつた

一般國民體育方策答申案

一、指導方針

（イ）體育指導の目標を戰力增強の一點に集中す、即ち國家意識を益々旺盛ならしめ果敢不撓の精神を涵養すると共に強靱なる體力の錬磨を圖り以て國土の防衞に任じ、進んで攻擊力を增強し兼ねて銃後生產力の增強に資せしむることを主眼とすること

（ロ）體育實施の對象は之を朝鮮全大衆に置く、特に勤勞に關係ある年齡層及び戰時增產に挺身する其の他の一般勤勞大衆並に女子青年に格段の力を致すこと

（ハ）體育種目の選定は性別、年齡、職域、季節等に依りて差異あるは勿論なるも直接戰力增強を主眼とし資材關係等を考慮の上重點主義を採ること

（ニ）體育實施の重點を平素の錬成に置き體育大會等の開催は輸送關係等を考慮し平素の訓練と不離一體の關係において眞に緊要と認むるものに付嚴選實施すること

（ホ）體育實施の具體的目標としては男女とも體力章檢定初級以上の獲得並に維持に努めしむること

（ヘ）體育實施は強健なる者を一層鍛錬すると共に強健ならざる者を強健ならしむるに努むると

（ト）體育實施は常に勤勞作業と緊密に結合せしむることに留意すること

二、體育種目

一般武道の外左記種目に重點を置きてこれを實施すること

（男子の部）男子體力章檢定種目、體操、行軍、陸上戰技、水泳、相撲、銃劍道、射擊、海洋訓練（機、滑空等を含む）航空訓練、機甲訓練、騎道、氷上運動

（女子の部）女子體力章檢定種目、體操、行軍、陸上戰技（女子に適切なるもの）水泳、球技（特に女子に適切なるものに限る）

氷上運動、氷上運動

三、體育大會試合等の行事統制

（イ）體育大會試合等の開催は朝鮮體育振興會制定體育大會開催實施要綱に依り前掲の重點種目中特に必要と認むる種目に限り之を開催すること

（ロ）全鮮的體育大會の開催は朝鮮神宮奉贊體育大會のみとすると

（ハ）全道（府、郡、島、邑面）的體育大會の催しは體育振興會體育大會開催實施要綱に依ると

四、指導力の增強

（イ）體育種目を重點主義に依り決定の上は之に必要なる指導者の養成に邁進すると共に常に獻身的奉仕の熱意を有する各種目の指導者を國民體育指導者たるの自覺の下に再出發せしむること

（ロ）全鮮各種職域、地域に必要なる體育指導者數を定め中央地方各種の指導者養成講習會或は錬成會を開催し其間常に有機的聯繫あらしむること

（ハ）成る可く速かに指導者檢定制度を制定實施すること

五、體育實施單位團の增加

（イ）錬成日に實施しつゝある官廳、會社、工場其の他の職域に於ける體操教練等の如き體育實施單位團の增加を計畫すること

（ロ）各種團體の體育訓練部を一層充實せしめ其實際運動を勵行せしむること

六、體育行政機構の確立

（イ）本府に體育課等を設置し優秀なる體育指導官を得ること

（ロ）道に地方體育官等を設置すること

七、一般國民體育經費

本府は體育國家管理の立場より一般國民體育經費の相當額を增加計上すること

八、體育大會にかゝる觀覽料の廢止

各種の弊害を生ずるの虞れあるに付之を廢止すること、但し場內整理の爲にする少額の入場料徵收は差支なきこと

獨海軍輕艦隊活躍

【ベルリン廿六日同盟】獨統帥大本營廿六日正午發表＝

東部戰線　獨海軍輕艦隊はコーカサス沿岸沖合でソ聯快速艇一隻に損傷を與へ、さらに商船一隻に砲擊を加へて火災を生ぜしめた

チユニジヤ戰線　一、チユニジヤ西部地區における防衞戰は依然熾烈に續行されてゐる、反樞軸軍は數的に優勢を持するにも拘らず、廿五日もまた突破企圖を挫折せしめられ、激戰數刻のゝち戰車多數を喪失して空しく敗退した

一、樞軸軍は空中戰および地上砲火をもつて反樞軸軍飛行機十二機を擊墜した

榮えあり增産戰士
天長の佳節に初の中央表彰
晴の勤勞顯功章授與

勤勞報國を昂揚する勤勞者の金鵄勳章ともいふべき勤勞顯功章が戰力增強に挺身する勤勞者の上に輝くことになつた――職域奉公に赤誠を捧げてゐる勤勞者に對し、その功勞を國家で表彰し、この榮譽を顯彰するとともに、勤勞精神を昂揚し決戰下戰力の飛躍的增強を圖るため、さきに總督府では勤勞顯功章令を制定、去る二月十一日の紀元節を卜し各道及び鐵道局で地方表彰を行つたが、榮譽ある初の『中央表彰勤勞顯功章』の授與式は廿九日、天長の佳節を卜し正午から景武台總督官邸で舉行する、今度の中央表彰者は各道及び鐵道局から中央表彰候補者として內申した廿五名の中から、廿三日本府で朝鮮勤勞者中央表彰審査會を開き慎重に審議を遂げ晴の受賞に浴する榮譽者を決定したものである

朝鮮神宮の天長節祭

聖壽を壽ぎ奉る四月廿九日の天長節には、朝鮮神宮でも午前八時卅分から畏きあたりの彌榮を祈願し奉るため嚴かに中祭式をもつて天長節祭を執行、額賀宮司以下全職員は前夜より參籠潔齋の上、この盛儀に奉仕することになつた、また當日は小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監をはじめ貴族文武官、道府民總代及び總督府各局長、各官署長並に各學校、團體約二百名が參列する、なほこの日京城府慶町京城公立農業校内の朝鮮神宮神田では神田播種祭を執り行ふ

裁判所廳舍跡を開放

【東京電話】司法省では昨秋の行政簡素化に順應して全國二百八十八ケ所の區裁判所中百一ケ所に對し事務停止を行ひ、そのうち五十八ケ所の區裁判所は登記事務と調停訴訟を取扱ひ一般の便宜を圖つて來たが、殘る四十三ケ所は登記事務を取扱ふのみで廣大な廳舍は空屋になつてゐるので、司法省ではこの戰時下家屋不足の際徒らに立腐れに放置するとは時局柄遺憾として自發的に地元の公用公共に提供することとなり公共團體に呼びかけたところ希望者殺到して大部分賃借契約が成立した、多くは無償貸與だが一部は有料にしてその家賃も三圓乃至最高六圓程度の安値である、借手の主なるものは隣會町村會の事務所、警防團、縣立農……

誓ふ盡忠報國の誠
午前七時一齊に宮城遙拜

天長節

畏くも寶算を壽ぎ奉る廿九日の天長節に一億國民の喜び溢れる奉祝日として各方面でも種々の行事を行ふが、京城府聯盟でもその日を次のやうに迎へるやう廿七日管下各愛國班に對して實踐要項を示した

▲午前七時を國民奉祝の時間とし必ずその所に於いて盡忠報國の誠を誓つて宮城遙拜を行ふ(イ)遙拜は號笛によつて知らせ廿秒間吹鳴する(ロ)汽車、電車、乘合自動車の中または集合の場所では乘務員又は司會者の指示に從ふこと

▲各種團體、學校職場、團體等では適當の時刻に式典を舉げ、必勝祈願を行ふこと

▲式典は官公衙學校では一、敬禮二、宮城遙拜、三、國歌合唱、四、必勝祈念、五、奉祝の辭、六、皇國臣民の誓詞齊誦、七、聖壽萬歲、八、敬禮

▲當日朝鮮神宮に於ける天長節祭には愛國班長以上は必ず參列する

▲一般官民は神宮、神社參拜

魚雷四發見事命中
米空母擊沈の獨潛は僅か一隻

【ベルリン廿六日同盟】獨逸大本營は廿五日の特別公報においてドイツ潛水艦による米國の空母レンヂャー擊沈を發表したが、獨軍當局は廿六日その擊沈狀況を次の如く說明した

廿五日早朝北大西洋に米國の空母が現れたとの報道が入つた、當時同方面に作戰してゐたドイツ潛水艦は僅か一隻に過ぎなかつたが直ちに同空母に對し攻擊を加へた、レンヂャーは卅ノツトの快速力で護衛驅逐艦數隻を隨へて航行してゐる、ドイツ潛水艦の放つた魚雷四發は見事空母の艦腹に命中し、火焰が高く噴き上ると見る間に火災を起して沈沒した、敵驅逐艦は空母乘組員の救助に奔走するのみで、潛水艦に對しては一回も攻擊を加へて來なかつた

獨潛水艦初の米空母擊沈
レンヂャーは大型空母級裝備

【東京電話】米空母レンヂャーは獨逸潛水艦の攻擊を受け遂に大西洋で擊沈された(廿六日ドイツ大本營發表)ドイツ潛水艦による米空母の擊沈は今回がはじめてである、緒戰以來の米空母の擊沈はカレージャス(二二、五〇〇トン)アークロイヤル(二二、〇〇〇トン)につぐイーグル(二二、六〇〇トン)ハーマン……わ、今次また大西洋にレンヂャーを失つた、これにより大東亞戰爭開始前米國が保有してゐた航空母艦七隻が殘らず海底に葬り去られた

ローリアス(二五、〇〇〇トン)の四隻があり、今回は五回目の擊沈である、レンヂャーは約一萬四千五百トンの小型空母であるが、搭載機數その他の設備に於いては優に設計變更の大型空母に匹敵するものといはれ、恐らくは還追せる敵經空の補給に當る船團護衛の艦隊潛水艦の好餌となつたものであらう、米國は大東亞戰爭開始前後太平洋方面に就役せしめてゐた米空母は帝國海軍の強襲によりレキシントン、サラトガ、ヨークタウン、ワスプ、エンタープライズ、ホーネットを相ついで擊沈せられ

しかし敵米海軍は近代海戰に於ける空母の重要性にかんがみ必死に空母陣の增強をはかり、軍艦を設計變更、或は商船改造により空母並に特設空母の就役に狂奔しつゝあり、外電の報ずるところによれば、エセックス型(二五、〇〇〇トン)級數十一隻を建造中ですでにその四隻は進水したと言明かつレキシントン、ヨークタウンなど失はれたる空母の名を新空母に附し、敵愾心を煽らんとしつゝある事實などより見て、現在なほ相當數の航空母艦を擁してゐることは充分推定せられ、今後に於ける敵空母の擊滅計畫とともに嚴に戒心の要がある

辛酸滲む"全彈命中"
陰に砲手の尊い發明

【南太平洋戰線〇〇にて廿六日同盟】來襲の敵機あらば一機たりとも逃がさじと南太平洋の空を凝視し晝となく夜となくマラリヤ蚊と鬪ひながら〇〇の密林內に布陣して敵機群と猛烈な戰鬪を續ける高射砲〇〇部隊伊藤隊では、さきに敵ボーイングに對し全彈命中、必中彈を浴びせて〇〇防空司令官より賞詞を授與されたが、その陰には隊長伊藤中尉の防富にヒントを得て同隊の一砲手が發明した航路角補助指針機の功がある

この高射砲操作班の一六番砲手さんは永田上等兵で群がり來る敵機をなんとかして一機でも多く確實に擊墜しようとの旺盛な鬪志が日ごろ隊長がいふ『航路角を正確にしかも迅速に發見せよ』との訓示と相俟つて發明の端緒となつたのである

高射砲射擊のためには飛行機の飛翔する航路と射線を結ぶ角度を適確敏に發見することを必須條件とする、自らの體驗に基き砲手の永田上等兵がわづか半日にして創り上げたものであるこの航路角補助指針は取付けも至極容易なうへに操作も簡單で殊に夜間に於いて絶大な效果を發揮することはすでに全彈命中で火を吐くボーイング〇機を出したことでも明かだ、南海……

大型燒夷彈 恐るゝに足らず

陸軍築城部本部技師によつて完全征伏法が誰にも分りよく、『富士』五月號に發表されてゐるが各防空群の感謝の的である

防空標語募集

『國民一人々々が防空戰士』……總務局では決戰防空……

▲內容(イ)大衆の心に喰ひ込み防空意識を燃やすことになつた、極めて迫力性に富む標語たと(ロ)內容、語句共に斬新にして既往のものを模倣せるものならざること

▲用紙 必ず官製葉書を用ひ所氏名は墨又はインクのこと

▲宛名 總督府警務局防衛課內朝鮮防空協會『標語募集』係

▲締切 五月三十日

▲發表 六月上旬新聞紙上

▲賞金 一等三十圓(一名)二等十圓(二名)三等十圓(二名)選外佳作五圓宛(四名)

誇れ健母への道
女學生にモンペ 登行錬成の春

◇……これは女學生の春の行樂の姿ではない、大東亞戰勃發と共に各中學校、女學校が年一度の秋の汽車旅行を廢止して、毎月一回を步行鍛錬日と定めた野を行き山を步く鍛成行だ

◇……春闌けて櫻散る中を真白な上衣にモンペ姿も颯爽と拔けて、山につく、山はもう松に新緑の葉が光の中で銀に輝く澄んだ空氣の昏ひ、背ににじむ汗も快適、さうして空と緑の地の中に開く日の丸旗幟

そこに健母への體力が鍛成されるのだ

◇……步け、步け、決戰女學生、モンペの登行に健母への春を謳れ【寫眞=第一高女の登行鍛成―けふ北漢山にて】

砂糖の配給方法が變ります

京畿道砂糖配給協議會から砂糖配給權を委讓された京城食糧品小賣商業組合では新たに砂糖部を設けることになり豫て當局へ認可申請中のところ、このほど正式認可に接したので廿七日午後一時から京城旭ビル會議室で初の砂糖部會を開きこれが配給方法につき協議の結果、從來の各警察署單位の配給を廢止して同組合から人口比率制度をもつて直接各小賣業者へ配給することになつた

誓ひ合ふ奉公
＝本紙の記事が取り持つ縁＝
一傷兵と女將の佳話

【釜山電話】本紙記事が取り持つ縁の佳話――廿六日釜山驛町おでん屋開運の女將吉村さつきさんに一通の軍事郵便が屆けられた、差出人の名は〇〇陸軍病院陸軍伍長田村光正とある、見知らぬ兵隊さんからの便りを讀んでゆくうちにいつかさつきさんの目からは感激の涙が流れ出てゐた、文面には『私は不幸にして第一線の戰ひにも參加出來ず、病床に寵され現在〇〇陸軍病院にゐますが、四月廿三日附の京城日報であなたの燃えるやうな決戰への銃後奉公ぶりを知り、思はず淚の出るのを押へることが出來ませんでした、一日も早く元の丈夫な身體になつてきつと〳〵をばさんに負けぬやう、前線へ出て働きます…』

と切々立ちおくれた不甲斐なさを嘆じ、肉親の伯母にでも訴へるかのやうに奉公を誓ふ決意が書き記されてあつた、讀み終つた女將さつきさんは、僅かばかりの獻金にも見も知らぬ兵隊さんからお禮をいはれてはもつたいないと、更に今後の奉公を胸深く誓ふと共に、早速慰問の返辭を送つたが、この感激を生んだ記事は本紙廿三日附南鮮版通信『建設の春』のうち『おでん台に築る獻金箱、一ぱいの銃にも感謝の報國ぶり』と題する記事であつた

本社工務局の鍊成會

本社工務局鍊成會は廿七日午前九時から府民館講堂に開催、安井局長以下三百名出席、國民儀禮の後本社論說委員杉本與氏の『必勝の精神』と題する講話を深い感銘をもつて聽き、大東亞戰爭に處する職域奉公の念を更に新にして九時半散會した

隣組にもラニマ

『自分等の治安は自分等の手で』と比島民の積極的な努力……

けふの市況(廿七日)

株式 小甘 當限平穩納會

實物 一部分高

[illegible]

銘柄	前寄	前場大引	後寄
東株			
新レ			
新洋			
小倉			
麥酒			
新			
塩水			
日橋			
満業			
高周波			

後三國志
出師の卷【132】 吉川英治(作) 矢野橋村(繪)

西部第二戰線(三)

姜維は、言下に答へて、
『敵には、勇があつても、智略がありません。また機略力があつても、統御力はないのです。丞相の指揮とわが蜀兵の力で破れなかつたら、むしろ不思議でせう』
と、云つた。

孔明はわが意を得たるものとしてうなづいた。――そして山を降りて、陣營に入ると、諸將を會して、かう諭つた。

『いま彭城野に迎つて、朔風天に翻るをもよほす。正にわが計を用ふべき時である。姜維は一軍をひいて敵近く進み、予が紅の旗をうごかすのを見たら急に退け。……その他の將には、後刻なほ告げるところがあらう』

すなはち姜維は誘導殲滅の先手となつて先軍へ近づいたのである――と見るや、越吉元帥の中軍は例の鐵車隊を猛牛の如く押しすゝめ、姜維の勢を席卷せんとして來た。

姜維の勢は、引つ返し、又踏みとゞまり、又逃げ奔る。

勝ち誇つた羌族の大軍は、この日を期して、蜀陣を粉碎せよと、陣容を擴大して、つひに孔明の本陣まで殺入して來た。戰ひ半ばの頃から大きな吹雪となり出してゐたが、今しも姜維の兵は、その霏々たる雪片と異ならず、みな先を爭つて陣門の內へ逃げ入り、防ぎ戰ふ者もなかつた。

鐵の猛車は苦もなく柵門を突き破り、十台、二十台、三十台と、列をなして進み入つた。それに續いて、騎馬二千、步兵三、四千も喊聲をあげてなだれ入つた。

ところが、兵營の彼方此方に、破れる旗とおびたゞしい雪の吹き溜りが眺められただけで、陣内には一兵も見えない。――のみならず、その雪風に、枯葉の戰か、非ず、不可思議な美音が、何處からともなく聞えて來るではないか。

『はてな!……。待て待て。深入りするな』

越吉元帥は味方を制した。そして馬上に耳を澄ましてゐたが、『琴の音だ。琴の音がする』

と、つぶやいた。

さてこそ、深き計略があるにちがひない。孔明といふ軍略に拔けたる者が新たに、新鋭をひきゐてこれへ來てゐると聞く、油斷すな、前後に警戒せよ、と彼は諸隊に戒めつゝ、心なほ怪しみに囚はれて退きもせず、進みも得ず、吹雪の中に立ちよどんでゐた。

『いや待て、徐々、いぶかしいぞ』

越吉元帥は、それを制したが、もし孔明の計略ならば……

孔明を見かけたら、この機を外さず手捕りにせよ』

と、厳命した。

越吉元帥もそれに勵まされて、ふたゝび鐵車の猛進を令し、兵を分けて、まづ陣の四門を塞ぎ取つて、本攻めに敵殘兵の殲滅を計つた。

と、奧深き一叢の疎林のうちにまた一棟の兵舍があつた。今、そこから慌てゝ南の門へ逃げ出してゆく一輛の四輪車がある。隨從の者も、五、六騎の將と百人ばかりの小隊に依つて守られゆくに過ぎない。あれよ、孔明にまぎれもなし、追ひかけてわれこそ捕へんと、羌族の部將たちは、馬を揃へて驅け出さうとした。

『やらぬぞ』

羌族の騎馬、戰車、步兵などは雪を蹴り、雪にまみれ、眞つ白な煙を立てゝ追つた。

孔明の車は、その間に、南の柵門を出て、陣後につゞく林の中へ隱々として逃げかくれてゆく。

新刊紹介

▲新時代(四月號)『徵兵制實施と青少年の鍊成を語る』座談會、其の他(五十錢、京城、鍾路二ノ八六、新時代社)▲農設青年(四月號)▲國民生活論叢(第四輯、三十錢、京城、内需町、六九ノ一生活科學社)